

下高堅実に初戦突破



2019年 (令和元年)
7月10日
水曜日

発行所 茨城県立下妻第一高等学校新聞部
 発行人 吉田 俊則
 編集人 稲葉 啓斗

号外



タイムリー2ベースを打った山口裕貴選手 (渡邊琴美撮影)

9日、ノーブルスタジアム水戸で下妻第一高校(以下下高)と日立北高校(以下日立北)の試合が行われ、下高が6対2で勝利した。

初回到1点を先制された下高は4回表から反撃を始めた。4回表ランナーを2塁に進めた下高は林統生選手(3年5組、以下林選手)がタイムリー2ベースを打ち1点を入れてまず日立北に追いつく。5回表、山口裕貴選手(3年6組、以下山口選手)がタイムリー2ベースを打ち下高は逆転した。その裏、日立北の反撃を受け、失点の可能性があったが加藤孝太郎選手(3年7組、以下加藤選手)の好投をはじめとする守備の堅い守りで難局を乗り越えた。6回表、下高は林選手のタイムリー3ベースと住谷颯

大選手(2年1組、以下住谷選手)のスクイズにより2点を追加し、大きくリードした。7回表、3塁に進んでいた古谷一貴選手(3年3組)が山口選手のセンターへの犠牲フライにより、ホームベースを踏んだ。最終回、加藤選手の送りバントで住谷選手が2塁に進んだ。平井颯選手(3年2組)がタイムリーを打ちさらに1点を追加した。

日立北の攻撃から逃げ切り下高は第1回戦を突破した。(稲葉啓斗)

◆2回戦 つくば秀英高校と対決

1回戦を見事勝ち抜いた下高は、7月13日土曜日11時30分から笠間市民球場にて、つくば秀英高等学校と対決する。つくば秀英高等学校は平成31年春季関東地区高校野球茨城県大会でベスト8になった強豪校だ。(矢吹和詩)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
下高	0	0	0	1	1	2	1	0	1	6
日立北	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2